

## 新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

【集計期間（陽性報告日）】

前週： 令和4年第51週 令和4年12月19日(月) ～ 令和4年12月25日(日)

今週： 令和4年第52週 令和4年12月26日(月) ～ 令和5年1月1日(日)

項目		前週	今週	前週比	これまでの最大値		
感染の状況	陽性者数	①総数	14,253人	12,304人	↓	22,063人	令和4年第30週
		医療機関報告分 <sup>※1</sup>	11,693人	9,618人	↓		
		セルフテスト陽性 <sup>※2</sup>	2,560人	2,686人	↑		
	②対人口10万人（総数）	925.5人	799.0人	↓	1,433人	令和4年第30週	
	③前週との増加比（総数）	0.99	0.86	↓	18.0	令和4年第1週	
④陽性率 <sup>※3</sup>	56.5%	59.6%	↑	64.3%	令和4年第30週		
医療提供体制	⑤入院患者（陽性確定例）	入院中の患者数 <sup>※4</sup>	315人	289人	↓	368人	令和4年第31週
		（病床使用率）	64.9%	59.6%	↓	93.9%	令和3年第33週
		（確保病床数）	485床	485床			
	⑥重症患者（陽性確定例）	入院中の患者数 <sup>※4</sup>	7人	5人	↓	68人	令和3年第34週
		（病床使用率）	10.1%	7.2%	↓	146.7%	令和3年第33週
		（確保病床数）	69床	69床			

※1 市内医療機関等から新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）により報告があった1週間の陽性者数の合計

※2 自己検査で陽性となり、その旨を神奈川県に連絡・申請し、登録された方の1週間の合計（神奈川県記者発表資料の件数を基に集計）

※3 陽性率を算出するための検査件数は、川崎市健康安全研究所による検査件数と市内医療機関から直近の日曜日までに新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）により報告があった検査件数（速報値）の合算を用いております。

※4 直近の日曜日の報告数

### <モニタリング項目の見直しについて>

令和4年9月26日に全国一律で発生届出対象の見直しが行われたため、モニタリング項目を再検討し、令和4年10月4日公表分からは「陽性者数」、「陽性率」、「入院患者」、「重症患者」に係る項目のみ掲載することといたしました。

## <変異ウイルス検出状況>

ゲノム解析結果（川崎市健康安全研究所、国立感染症研究所、民間検査機関の解析結果を掲載）

	前週	直近 1 週間	累計
	R4.12/19 ~ R4.12/25	R4.12/26 ~ R5.1/1	R3.3/11 ~ R5.1/1
$\alpha$ 株（アルファ）	0件	0件	203件
$\beta$ 株（ベータ）	0件	0件	0件
$\gamma$ 株（ガンマ）	0件	0件	0件
$\delta$ 株（デルタ）	0件	0件	626件
o 株（オミクロン）：BA.1系統	0件	0件	581件
o 株（オミクロン）：BA.2系統	0件	5件	502件
o 株（オミクロン）：BA.4系統	0件	0件	8件
o 株（オミクロン）：BA.5系統	24件	31件	700件

※ここで記載している変異ウイルスの検出件数は、ゲノム解析によって確定された数です。

## <評価>

### 第52週（令和4年12月26日～令和5年1月1日）

第52週（今週）は、陽性者数は第51週（前週）に続き減少しており、前週との増加比も前週の0.99から今週0.86とさらに減少し、2週続けて1.0を割っています。入院患者数も、前週315人から今週289人に減少し、入院中の重症患者数は前週7人から今週5人に2週連続して減少しています。

### <感染の状況：直近1週間>

① 医療機関から報告された陽性者数は、第39週3,198名から、第42週2,203人まで4週連続して減少しました。しかし第43週2,676人から、4,606人→5,726人→6,781人→8,007人→9,105人→9,834人→11,814人と50週まで8週連続して増加しましたが、第51週（前週）は11,693人と9週間ぶりに減少し、第52週（今週）は9,618人と2週連続して減少しました。

セルフテスト陽性者数は第39週495人から、399人→459人→378人と推移しました。第43週450人から、814人→1,047人→1,249人→1,559人→1,813人→2,062人→2,643人と50週まで8週連続して増加しましたが、第51週（前週）は2,560人と9週間ぶりに減少し、第52週（今週）は2,686人とやや増加しています。

医療機関報告分とセルフテスト陽性者数の総数は、第39週3,693人から、第42週2,581人まで4週連続して減少しました。第43週3,126人から、5,420人→6,773人→8,030人→9,566人→10,918人→11,896人→14,457人と8週連続して増加しましたが、第51週（前週）は14,253人と9週間ぶりに減少し、第52週は12,304人と2週連続して減少しました

② 対人口10万人あたりの陽性者数は、第39週239.8人から、第42週167.6人まで4週連続して減少しました。第43週203.0人から、351.9人→439.8人→521.4人→621.2人→709.0人→772.5人→938.8人と8週連続して増加しましたが、第51週（前週）は925.5人と9週間ぶりに減少し、第52週（今週）は799.0人と2週連続して減少しています。

③ 前週との増加比は、第39週0.81から、0.78→0.97→0.92と推移し、第42週まで4週連続して1.0以下となっていました。第43週は1.21、第44週は1.73となりましたが、第45週1.25から、1.19→1.19→1.14→1.09と第49週まで5週続けて減少傾向にありました。第50週は1.22と増加に転じていますが、第51週（前週）は0.99と再び減少に転じた9週間ぶりに1.0を下回り、第52週（今週）は0.86と2週連続して減少し、また2週連続して1.0を下回っています。

④ 検査陽性率は、第39週40.2%から、36.2%→36.6%→34.8%→37.7%→51.3%→49.7%→50.5%→56.7%→54.6%→57.1%→57.8%→56.5%と推移し、第52週（今週）は59.6%となっています。

### <医療提供体制等の負荷：報告日1月1日現在>

⑤ 入院中の患者数は、令和4年第1週23人から毎週増加、第7週335人をピークとして第24週24人まで減少しました（第6波）。第25週41人から再び毎週増加し、第31週368人をピークとしてその後第43週61人まで、12週連続して減少しました（第7波）。第44週122人から三度増加傾向となり、146人→165人→205人→223人→258人→297人→315人と8週連続して増加しましたが、第52週（今週）は289人と9週間ぶりに減少に転じています。

入院病床使用率は、令和4年第1週4.8%から急増し、第7週70.2%をピークとして第24週4.9%まで減少しました（第6波）。第25週から毎週増加し、第31週75.9%をピークとしてその後第43週12.6%まで12週連続して減少しました（第7波）。しかし、第44週25.2%から、30.1%→34.0%→42.3%→46.0%→53.2%→61.2%→64.9%と8週連続して増加しましたが、第52週（今週）は59.6%と9週間ぶりに減少に転じています。

確保病床数は現在合計485床です。

⑥ 重症入院患者数は、令和4年に入った第1週は0人でしたが、第2週1人から第8週30人まで増加

してピークとなりその後減少が続き、第 21 週から第 25 週は重症入院患者 0 人が 5 週連続しました（第 6 波）。しかし、第 26 週から再び増加が続き、第 32 週 14 人となりました。第 33 週からは毎週減少し、第 40 週から第 43 週の 4 週間は 1 人となりました。（第 7 波）。第 44 週・第 45 週の 3 人から、第 46 週は 1 人と減少しましたが、第 47 週・第 48 週は 4 人、第 49 週は 11 人と増加した後、第 50 週は 10 人、第 51 週は 7 人、第 52 週は 5 人と 3 週連続して減少しています。

重症病床使用率は、本年第 3 週 4.3%から増加が続き、第 8 週の 43.5%が第 6 波のピークとなり第 9 週 2.9%まで減少が続き、第 21 週から第 25 週は重症入院患者数 0 人のため重症病床使用率も 5 週連続して 0.0%となっていました。しかし第 26 週 2.9%から増加が続き、第 32 週の 20.3%を第 7 波のピークとして減少し、第 40 週から第 43 週は 1.4%となっていました。第 44 週・第 45 週は 4.3%と増加し、第 46 週は 1.4%と減少しましたが、第 47 週・第 48 週は 5.8%、そして第 49 週は 15.9%と増加した後、第 50 週は 14.5%、第 51 週（前週）は 10.1%、第 52 週（今週）は 7.2%と 3 週連続して減少しています。

重症者の確保病床は現在 69 床です。

### <変異ウイルス検出状況>

ウイルス株については、現在本市においてはオミクロン株のみの検出となっています。第 52 週（今週）は、オミクロン株 36 件中、BA.2 系統が 5 件、BA.5 系統が 31 件でした。

本市における医療機関報告分とセルフテスト陽性者分を合わせた陽性者総数は、第 42 週 2,581 人から第 43 週 3,126 人と増加に転じ、以降第 50 週 14,457 人まで 8 週連続して増加していましたが、第 51 週（前週）14,253 人、第 52 週（今週）12,304 人と 2 週連続して減少となっています。

前週との増加比は第 39 週から第 42 週まで 4 週連続して 1.0 以下となっていました。第 43 週は 1.21、第 44 週は 1.73 と増加しましたが、第 45 週 1.25 から第 49 週 1.09 まで 5 週続けて減少傾向にありました。第 50 週は 1.22 と増加しましたが、第 51 週（前週）は 0.99 と再び減少に転じ、第 52 週（今週）は 0.86 と 2 週連続して減少し、かつ 2 週連続して 1.0 を下回っています。

入院患者数、入院中の重症患者数は、総陽性者数に 1 週間遅れて第 44 週から増加に転じ、その後入院患者数は第 51 週 315 人まで 8 週続けて増加しましたが、第 52 週（今週）は 289 人と減少に転じています。

重症入院患者数は、第 46 週 1 人、第 47 週・第 48 週 4 人、49 週 11 人と増加しましたが、第 50 週 10 人、第 51 週（前週）7 人、第 52 週 5 人と 3 週連続して減少しています。

令和 4 年の最終週である第 52 週（今週）の感染の状況を示す諸項目の数字、入院患者数、重症入院患者数は、セルフテスト陽性者数および検査陽性率を除き、すべて減少傾向となっています。年末という特殊な状況であることも考慮に入れる必要がありますが、全体に減少傾向にあることは有難いことです。

一方、救急車の搬送状況などは、一般医療の救急搬送も含めて増加しており、楽観できる状況とはいえません。

重症患者ができるだけ発生しないように、発生しても医療で受け止められる（入院ができる、経過観察ができる）体制を取れるようにしておくことは、極めて重要なこととなります。そして新型コロナウイルスの医療のみならず、通常の医療・救急医療・お産などが通常通りに行われ、また一方では生活の状況を良い方向に向けていくためには、お一人お一人に基本的な感染症の予防に気を付けていただき、陽性者数の増加をできるだけ止めていくことが大変重要になります。

次週からは、令和 5 年第 1 週としての報告となります。

令和 3 年 52 週のモニタリングでは、令和 4 年の目標として「新たな感染症とともに暮らせる年—行きすぎない程度の注意をしながら普通の生活ができる年—」になることとしてありましたが、令和 5 年こそこの目標を達成したいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。